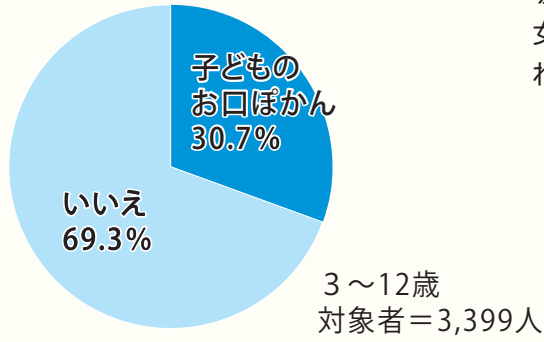


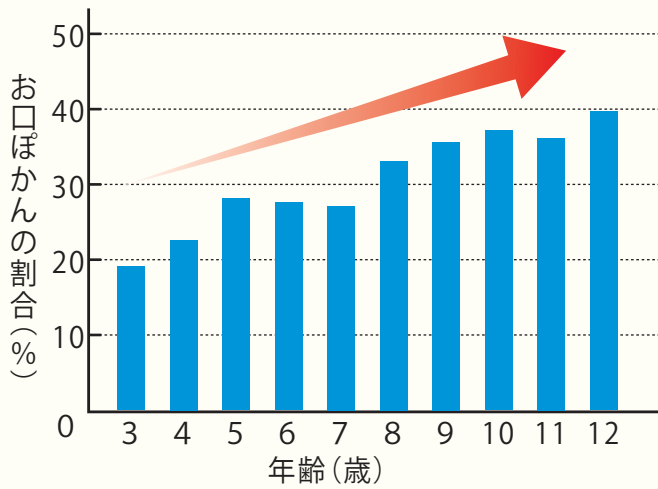
乳幼児の口腔健康管理②

■ 子どものお口ぼかんの有病率



乳幼児の口腔健康管理においては、むし歯の予防や歯並びや噛み合わせだけでなく、口呼吸や口唇閉鎖不全、いわゆる「お口ぼかん」についても注意が必要です。新潟大学、大垣女子短期大学、鹿児島大学の共同研究によると、お口ぼかんは自然治癒が難しいと考えられており、昨年4月より小児口腔機能管理料と小児口唇閉鎖力検査が新設されています。

■ 各年齢におけるお口ぼかんの割合



新潟大学、大垣女子短期大学、鹿児島大学共同研究より

● 小児口唇閉鎖力検査（小口唇）

100点（3ヶ月に1回）

- ・ 口腔機能の発達不全が疑われる患者に口唇閉鎖力測定器を用いて測定した場合に算定可。疑い病名でも算定可。
- ・ 歯管、小児口腔機能管理料、歯在管、小訪問口腔リハを算定し、継続的な口腔機能の管理を行なっている患者に3ヶ月に1回算定する。
- ・ 検査に係る費用は所定点数に含まれ別に算定できない。

ホームページにて公開中！

- ★ 動画「仕上げ磨きのポイント」「歯科医院での感染防止対策」
- ★ 歯はハのコンテスト受賞作品



DH Pro.セミナー
講師・インストラクター
によるコラムのコーナー

2022年5月開講

DHPro.セミナー ファーストステップコース

では不安や疑問を解消し確実にスキルアップ！

来年度より開講する、岡山保険医協会歯科部会主催・山崎瑞穂監修のファーストステップコースで講師を務めさせていただきます、清水望美です。

私は歯科衛生士学校を卒業後、現在勤務している医院に就職し、今年で歯科衛生士歴21年目を迎えます。元々不器用で歯科衛生士業務に苦手意識があり、歯周基本治療の魅力も理解できないまま仕事をしていました。しかし、山崎瑞穂先生と出会い、丁寧に愛情深く技術を教えていただいたことで、少しずつ上達することができました。また、技術とともに歯科衛生士としての心構え

と熱い想いを学んだことで歯周基本治療の魅力に気付き、生まれ変わったように考え方が変わりました。

現在は歯科衛生士の仕事にやりがいを感じ、楽しく仕事をしています。育児休業後、復帰をした時に患者様から「帰って来るのを待っていたよ！」とお声がけいただいた時、待ってくださる患者様に感謝し、改めて歯科衛生士の仕事の素晴らしさを実感しました。

歯科衛生士の仕事を楽しみと思えない方、不安で自信がない方、自分の努力次第で絶対に変われます！ファーストステップコースでお会いできるのを楽しみにしております。

接客マナーを身につけたい。

わがっているようで、わからないこと、ありませんか？

患者さまとのコミュニケーションが苦手…。

歯周病の知識を身につけたい！

レントゲンの読影が不安…。

規格性のあるフルデンタルの正しいセッティング方法は？

DHカルテの正しい記載方法は？

フレミタスチェックの方法と記入の仕方は？

ブランクがあるけど大丈夫かな…。

